

平成 28 年度国際交流センター事業報告書

国際交流センター長 吉重 美紀

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

1. 本学のグローバル化推進のため、老朽化したセンターLL2 教室の改修計画を策定し、改修を始めた。
2. 本学から海外へ留学する日本人学生の派遣体制の整備と広報活動の充実を図るため、従来の留学説明会（1 日）を留学相談ウィークとして数日間にわたり実施した。
3. 学部2 年生を対象に TOEIC IP テストを実施する等、英語教育の充実とともに、英語の多読図書や留学生用日本語テキスト等、教材の充実に努めた。

II. 事業報告

1. 教育（授業に関することを除く）プロジェクト
 - ① LL2 教室の改修計画の策定及び改修(一部)を行った。(国重・エルメス)
 - ② 学部2 年生を対象に TOEIC IP テストを実施した。
 - ③ AO・推薦合格者に対し、1 月から2 月 e-learning 教材による入学前教育（英語）を実施した。
 - ④ 留学生を対象に4 月と10 月に日本語プレイスメントテストを実施し、前期、後期開講の日本語補講をコーディネートした。(吉重)
 - ⑤ 平成 28 年度体験授業「スポーツマンのための基礎英語」を開講した (7/17)。(吉重、国重)
 - ⑥ 筑波サマー・インスティテュート 2016 派遣学生に対しマンツーマンで英会話を指導し、いんぐりっしゅ☆る～むに参加させた。また、筑波大学でプログラムを視察した。(国重)
 - ⑦ TOEIC IP テストを実施し、得点で受験料補助（財団から）を行った。(国重)
 - ⑧ トビタテ留学 Japan の応募者に対し、申請書の書き方や面接受験等の事前指導及び海外派遣前の指導を実施した。(吉重)
2. 国際交流プロジェクト
 - ① 前期留学説明会を 5/12 に実施し、後期は 10 月 24 日～27 日に留学相談ウィークとして実施した。(エルメス)
 - ② 留学生オリエンテーションを4 月、10 月に実施した。(中村)
 - ③ 留学生チューター説明会を4 月、10 月に実施した。(中村)
 - ④ 留学生支援交流会を12 月に実施した。(中村)
3. 社会連携・社会貢献プロジェクト
 - ① 「いんぐりっしゅ☆る～む」を学生、教職員、市民を対象に開催した。(国重)
 - ② 教員免許状更新講習 (Teaching English in English) を開講した (6/25)。
 - ③ 教員パワーアップ研修 (Let' s teach English in English!) を実施した (8/3)。
 - ④ 公開講座「Picture Description～写真を見せて、やさしい英語で説明しよう！」を開講した (5/11～6/8 全5 回)。(国重・エルメス)
4. その他

- ① センター非常勤講師対象の説明会および情報交換会を開催した。
- ② アドミッションセンターとの入学前教育実施に関する合同会議に参加した。
- ③ 全国国立大学法人留学生センター長および留学生課長等合同会議（11/11 一橋大学）に参加した。（吉重）
- ④ 本学学生対象の語学研修プログラムを作るため、ハワイ大学の Outreach College 留学センターとワイキキ市内の NP0 「Hawaii Education Global Foundation」を見学し、打ち合わせを行った（3/2～3/9 ハワイ）。（エルメス）

Ⅲ. 決算報告

1. 教育プロジェクト関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	2 千円	英語テスト（4 月）実施学生補助
物件費	2, 2 6 6 千円	英語テスト実施、LL 教室保守、英語・日本語教材等
その他	千円	
計	2, 2 6 9 千円	

2. その他(広報等)

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	千円	
物件費	3 1 千円	コピー用紙、ファイル等
その他	7 8 千円	ニューズレター発行及び送料
計	1 0 9 千円	

Ⅳ. その他

1. 発刊物

センターニューズレターNo. 33 を発行した。

2. 開催会議状況

センター会議を 4/6、5/12、6/29、7/27、9/28、10/26、11/30、12/20、1/24、2/27 に開催した。

3. 広報活動

- ① センターニューズレターを県内高校、国内大学等の機関、海外の交流協定校へ郵送した。
- ② センターFacebook を利用し、センター事業の広報に努めた。
- ③ 教員免許状更新講習など学外受講者対象の講習・講座等で、ニューズレター等を配布し広報につとめた。

4. センター利用促進策の成果

- ① 2 つの LL 教室を授業だけでなく、留学生関連の行事や本学教員や地域住民対象の講習、講座等で活用し成果をあげた。
- ② 従来 CALL システムが導入されていた LL2 教室を可動式の机や椅子に替え、iPad を活用した多目的コミュニケーションルームに改修する計画を策定し、改修作業が始まった。今後アクティブ・ラーニングを取り入れた双方向型授業など、さらなる利用促進が期待できる。